

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34205	図書館総合演習 Comprehensive Study of Libraries (Seminar)	江良 友子	専門	1	選択	1・2年前期
<b>科目の概要</b>						
図書館に関する様々な問題・課題について深く理解するために調査・研究を行い、それらの解決策を社会に発信する力を身につけるためにグループでの発表、討議を行う。課題は受講者の興味・関心に応じてそれぞれ設定する。発表は学期の中間と終わりの2回行う。 これまで学んできた図書館が抱える問題に対して、自分なりに考え、提言できる能力を身につける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 図書館に関する問題や課題について理解する ② 問題・課題を整理して調査につなげることの重要性について理解する ③ グループ単位で調査・研究・発表を行う ④ 研究成果発表を行う ⑤ 発表後、討議を行う、演習結果の反省点を知る			① 図書館に関係する問題・課題を考察することができる ② 図書館に関係する問題・課題をまとめ、調査することができる ③ 発表に向けて教員と相談しながら、調査・研修を進めることができる ④ 聞き手にとってわかりやすい発表をすることができる ⑤ 他学生の発表を評価することができる。討議を通じて自分のグループの研究・発表の改善点を考察することができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	自ら進んで、図書館を利用できる。				
	働きかけ力					
	実行力	わからないところをそのままにせず、自ら進んで調べることができる。				
考え抜く力	課題発見力	大学入学後に学んだことから、図書館に関する課題を考察することができる。				
	計画力					
	創造力	利用者の視点で図書館を利用しやすくする方法を考察することができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手に伝わるプレゼンの方法を考え、発表することができる。				
	傾聴力	他の発表から、自分のグループ発表内容の改善点を考察することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 必要に応じて資料を配布する 参考文献: なし						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 図書館に関する科目全て 資格との関連: 図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
この演習を通して現代図書館が抱える課題について多くを学び、図書館に対する興味、関心を更に広げるよう努力すること。 関心を有するテーマについて研究を進めながら、他の発表者のテーマについても興味を持ち、質問や意見を言えるように準備すること。			遅刻・早退は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 授業時間内に発表準備を完成させることは難しいため、授業時間外に図書館を利用し、調べ、論点を整理してグループ発表に臨むこと。 調査、研究についての相談及び進捗状況の報告は、教員と隔回毎に行うこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	中間発表と最終発表を評価する。(20点+20点) (評価のポイント) ・聞き手の反応を見ながら話を進めることができている。(5点×2) ・パワーポイントが見やすく構成され、聞き手を惹き付けるような工夫がされている。(5点×2) ・論点がはっきりしていて、わかりやすい発表である。(5点×2) ・決められた時間内に終了できるようにまとめられている。(5点×2)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品	40	①	✓	中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料を評価する。(20点+20点) (評価のポイント) ・提出期限が守られている。(5点×2) ・資料作成の基本が守られ、見やすい資料作成ができている。(5点×2) ・テーマに合った調査内容となっている。(5点×2) ・最新の情報が取り入れられた資料作成ができている。(5点×2)
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 図書館を積極的に使って調査を進めることができる。 (実行力) 疑問を解決するために、図書館資料を使って調べることができる。 (課題発見力) これまで大学で学んできたことをベースに図書館に関する課題を考えることができる。 (創造力) 図書館を利用しやすくするにはどうしたらよいか、考えることができる。 (発信力) 疑問が解決できたとき、他者にもそのことを伝える発表ができる。 (傾聴力) 他者の発表から学んだことを、自分の発表に活かすことができる。 (規律性) 指定された期日までに、資料・発表を仕上げるができる。 ※上記の7項目は各項目に合致したそれぞれの回で評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	10	①		(評価のポイント) 指定された回に、教員と相談・進捗状態の報告をすることができる。(10点)
		②		
		③	✓	
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			成果発表、作品、社会人基礎力、その他の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
S(秀)評価 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が36点以上獲得できている 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき、作品の総合点が36点以上獲得できている 社会人基礎力の各項目全てが、概ね達成できている その他において、教員への相談・報告がもれなく行われている A(優)評価 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき総合点が32点以上獲得できている 作品の総合点が32点以上 社会人基礎力の各項目のうち6項目以上が達成できている その他において、教員への相談・報告が概ね行われている	B(良)評価 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が28点以上獲得できている 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき総合点が28点以上獲得できている 社会人基礎力の各項目のうち5項目以上が達成できている その他において、教員への相談・報告が行われている C(可)評価 中間発表と最終発表の評価ポイントに基づき、総合点が24点以上獲得できている 中間発表と最終発表の際に提出する発表用資料が、評価のポイントに基づき総合点が24点以上獲得できている 社会人基礎力の各項目のうち4項目以上が達成できている、 或は、達成までには至らないがよく努力している。 その他において、教員への相談・報告が行われている

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	今後の研究テーマを進めるための準備 ① 研究テーマの設定	講義 質疑応答 演習	研究テーマを考えることができる	(第1回予習) 各自図書館について研究したいテーマを準備して臨む (復習) 時間内に研究テーマが決定しなかった場合は、研究テーマを決定する (予習) 研究テーマを絞り込み、研究計画を作成する準備をする	60	主体性 課題 発見力
2週 /	今後の研究テーマを進めるための準備 ② レポート作成の方法 研究テーマの絞り込みと計画の作成を行う	講義 ビデオ 演習	研究テーマを決定し、グループに分かれて研究プロセス等を検討し、研究計画を作成することができる レポート作成の手法を理解することができる	(復習) 研究プロセス等を考え、研究計画を作成する (予習) レポート作成にとって重要な項目を7点書きだす	90	主体性 課題 発見力
3週 /	調査のための資料準備 ① 資料収集を行う	調査についての相談 (奇数グループ) 演習	文献資料を収集し、文献リストを作成することができる	(予習) 関係データベースを利用して各自必要な資料収集の準備をする	90	主体性 実行力 課題 発見力
4週 /	調査のための資料準備 ② 調査を行う	調査についての相談 (偶数グループ) 演習	事例、データを収集することができる	(予習) 新聞記事データベース等を利用して、各自執筆に必要な事例、データを収集して準備する	90	主体性 実行力 課題 発見力
5週 /	研究活動 ① 資料・データの検討を行う	調査についての相談 (奇数グループ) 演習	収集された資料・データをグループで検討することができる	(予習) 事例、データ収集で足りないところを補足する	90	主体性 課題 発見力 創造力
6週 /	研究活動 ② 資料・データの検討を行う	調査についての相談 (偶数グループ) 演習	収集された資料・データをグループで検討することができる	(予習) 役割分担をして「中間まとめ」の発表に向けてまとめる 発表に向けて、レジユメの作成を行う	90	主体性 課題 発見力 創造力 規律性
7週 /	発表会: 奇数グループ 「中間まとめ」の発表を行う	発表 フィードバック(口頭 でコメント)	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる	(予習) 20分程度の中間まとめの発表ができるようにレジユメに沿って発表内容を整理する 質問にも回答できるように準備する (復習) 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる	120	課題 発見力 発信力 傾聴力
8週 /	発表会: 偶数グループ 「中間まとめ」の発表を行う	発表 フィードバック(口頭 でコメント)	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる	(予習) 20分程度の中間まとめの発表ができるようにレジユメに沿って発表内容を整理する。 質問にも回答できるように準備する (復習) 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる	120	課題 発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 / 研究活動 研究計画の再検討を行う		調査についての相談 (奇数グループ) 演習	「中間まとめ」をチェックし、「最終発表」に向けて研究計画の見直しを行うことができる	(予習) 中間発表で指摘された事項を取り入れて研究計画を見直す	90	主体性 課題 発見力 創造力
10週 / データの収集 補足資料の収集を行う		調査についての相談 (偶数グループ) 演習	計画の見直しに基づき、補足すべき資料・データを収集することができる	(予習) 見直しに沿って発表資料をまとめる	90	主体性 実行力 課題 発見力 創造力
11週 / 「最終発表」の準備 ① 最終発表のための準備を行う		調査についての相談 (奇数グループ) 演習	「最終発表」のため、検討事項を整理することができる	(予習) 最終発表で使用するレジюмеを作成する	90	課題 発見力 創造力 規律性
12週 / 「最終発表」の準備 ② 最終発表のための準備を行う		調査についての相談 (偶数グループ) 演習	「最終発表」のための発表資料(パワーポイント、レジюме)を作成することができる	(復習) 最終発表で使用するレジюмеを仕上げ、PPを作成する	90	課題 発見力 創造力 規律性
13週 / 最終発表会:奇数グループ 最終発表会を行う		発表 フィードバック(口頭 でコメント)	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる	(予習) 20分程度の発表ができるようにレジюмеに沿って発表内容を整理する 質問に回答できるように準備する (復習) 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
14週 / 最終発表会:偶数グループ 最終発表会を行う		発表 フィードバック(口頭 でコメント)	発表を行い、全体で発表テーマについて討議することができる	(予習) 20分程度の発表ができるようにレジюмеに沿って発表内容を整理する 質問に回答できるように準備する (復習)発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる	90	課題 発見力 発信力 傾聴力
15週 / 総合演習まとめ 成果発表から反省・改善点を学ぶ		発表 講評	演習の成果、課題について全体で話し合い、評価することができる	(予習) 発表感想・振り返りができるように600字程度にまとめる	30	課題 発見力 発信力 傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力